



まるいん通信

発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911

屋久島環境保全募金へのご協力 ありがとうございました。

総額 241,684円

皆様からいただきました募金（平成29年度）は、屋久島の自然環境保全活動への支援・指導（ウミガメ産卵地保護柵設置など）、山岳部保全のための普及活動（登山者へのマナー指導など）に利用させていただきます。

島内の募金箱設置協力店

Aコープ宮之浦店 Aコープ安房店 JRホテル屋久島 雲水 鹿児島県屋久島事務所（2カ所） 上屋久郵便局 カレー茶房ハイビスカス グリーングラス 公民館（永田・一湊・宮之浦・安房） コミュニティショップわたなべ シーサイドホテル屋久島 縄文の宿まんでん ショッピングプラザコスモ永田店 杉匠 武田産業 田代別館 たなか屋 寺田屋 泊書店 ドライブイン屋久杉縄文 はちまん ビジネスホテルかしま ヒュッテフォーマサンヒロ ペンションアクティブ ホテルオーベルジュ ぼんたん館 本坊酒造 松田商店 マリンブルー屋久島 丸高水産 民宿山水 民宿水明荘 民宿たけすぎ 民宿八重岳本館 民宿やくすぎ荘 屋久島いわさきホテル（2カ所） 屋久島衛生社 屋久島ガス 屋久島観光センター（5カ所） 屋久島グリーンホテル 屋久島警察署 屋久島高等学校 屋久島サウスビレッジ 屋久島森林管理署 屋久島森林生態系保全センター 屋久島世界遺産センター 屋久島町役場各支所 屋久島電工 屋久島特産品協会屋久島ショップ 屋久島トラベル 屋久島パイン 屋久島八万寿茶園 屋久島ふるさと市場 屋久島料理・御宿鶴屋 ヤクスギランド売店 ライフセンターヤクデン 旅荘美山 ロッジ八重岳山荘 わいわいらんど

【29年度新規設置店】

喫茶ケルン sankarahotel&spa 屋久島 しいば 文昌堂 ホテル屋久島山荘 民宿前岳荘

◇『星空観察会』in 一湊小学校（担当：本間）

天体望遠鏡を使った星空の観察や賞品付きの天文クイズ大会を行います。

日時：4月20日（金）19:30～21:00（受付 19:00～） 対象：どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

会場：一湊小学校体育館・校庭 参加費：無料（予約不要）※雨天時は4月27日（金）に延期

◇『まるごと屋久島研修講座 里編・森編』（担当：小脇・勘場）

主に屋久島に初めて赴任された方々を対象に、「屋久島のみどころ」を里編、森編に分けてご紹介します。

『里編』

『森編』

日時：4月21日（土）9:00～17:00

参加費：1,500円（昼食代・保険料・研修費込）

内容：バスで島内一周、自然観察（担当：小脇）

日時：4月28日（土）9:00～16:00

参加費：1,500円（昼食代・保険料・研修費込）

内容：ヤクスギランド自然観察（担当：勘場）

◇『親子で屋久島わくわくキャンプ』（担当：丸山）

世界自然遺産屋久島の自然の中で、トレッキングや野外炊飯などを行います。

日時：5月3日（木）～5日（土）

対象：小学生以上とその保護者

参加費：中学生以上 18,000円 小学生 15,000円

募集：限定8組（先着順）※合計20名まで

申込：4月25日（水）まで

☆お問合せ先 屋久島環境文化研修センター 電話 0997-46-2900

~~~~屋久島環境文化財団インストラクターの募集について~~~~

平成30年度採用のインストラクター（環境学習研修指導員）を募集します。

応募資格、応募方法など詳細は財団ホームページをご覧ください。

募集期間 平成30年4月10日（土）～平成30年4月23日（月） 午前9時～午後5時

問合せ先 屋久島環境文化財団事務局（電話 0997-42-2911）

インストラクターだより

「鳥たちの夫婦関係」

インストラクター 勘場 奈美

暖かくなると、野鳥たちの活発な繁殖期がやってきます。子育てをする野鳥たちの夫婦関係は実に様々です。

オシドリ夫婦という言葉聞いたことがありますか？ 仲のいい夫婦のことを表す言葉ではありますが、実際のオシドリは毎年相手を替えて繁殖をしているそうです。それを聞くと途端に使いづらい言葉となってしまうそうですが、オシドリのような夫婦関係は、野鳥の世界ではよくあることなのです。

日本人にとってなじみ深い春告げ鳥、ウグイスは一夫多妻の野鳥です。オスは子育てのしやすい安全な場所を縄張りとし、有名な「ホーホケキョ」という声でさえずりメスを呼び込みます。そのさえずりにつられてやってきたメスと次々に交尾し、子育てには一切関わりません。

一方、身近な野鳥の中に、とても愛情深い習性を持っているものもあります。それはカラスの仲間です。カラスは人間から嫌われがちな野鳥ではありますが、一度つがいとなると基本的にどちらかが死んでしまうまで相手を変えることはないと言われています。

野鳥の多種多様な夫婦関係は、いずれもその種が途絶えることのないように進化の過程でできたと考えられます。人間のものさしでは計れない様々な習性に思いを巡らせつつ、野鳥たちの恋の季節を応援したいものです。



オシドリ（オス）

引用：http://01.gatag.net/0005208-free-photo/

財団活動報告

H29年度幼児環境教育推進事業

「屋久島こども森のあそび場」 全5回実施

「子どもゆめ基金」の助成を受け屋久島の幼児を対象に、「焚き火 de ほっこりごはんの会」や「テント de わくわくキャンプ」などの全5回のプログラムを実施しました。「親子が安心できる自然体験の場を」をコンセプトに事業を立ち上げ、3年目を無事終了することができました。今年のはべ人数220名の親子に参加していただき、親子の笑顔が咲き誇る幸せな時間を過ごすことができました。ご参加いただいたみなさん本当にありがとうございました。これからも屋久島の雄大な自然の中で体いっぱい遊びまわってくださいね！担当：福元（やっくん）



屋久島を想う

「屋久島を遠くにありて想う」

屋久島町立安房小学校

前教頭 内蘭博之氏

研修センターでは屋久島の自然や文化を伝え、環境について考える学びの場を提供することが仕事だった。12年前、学校から未知の職場へ来た私は、世界自然遺産を楽しんでもらおうと、必死で勉強し、得た知識を語っていた。今思えば、屋久島を純粋に堪能したい方にとっては、いらぬ知識の押し売りで、煩わしく感じたのではと反省している。

それから島を離れていた6年間、いろいろと屋久島を語る機会があった。自然のすばらしさ、文化の奥深さ、人の温かさ・・・等。屋久島の記憶は色あせることなく、月日を重ねる毎により鮮明に思い出されていた。

再び屋久島に戻り、今、子どもたちと一緒に島に暮らす人としての、現在の「屋久島」。未来を担う子どもたちと考える、これからの「屋久島」を学び直している。遠くからあこがれをもって眺めた「屋久島」は今も尚、魅力に満ちあふれている。

☆内蘭先生はH18～H20研修センターでお仕事されていました。2度目の屋久島生活も今年3月で安房小から転出されましたので執筆をお願いしました。



休館日

村センター 4 / 2 (月) 9 (月) 16 (月) 23 (月) 5 / 7 (月) 14 (月) 21 (月) 28 (月)

研修センター 4 / 9 (月) 16 (月) 23 (月) 30 (月) 5 / 7 (月)

